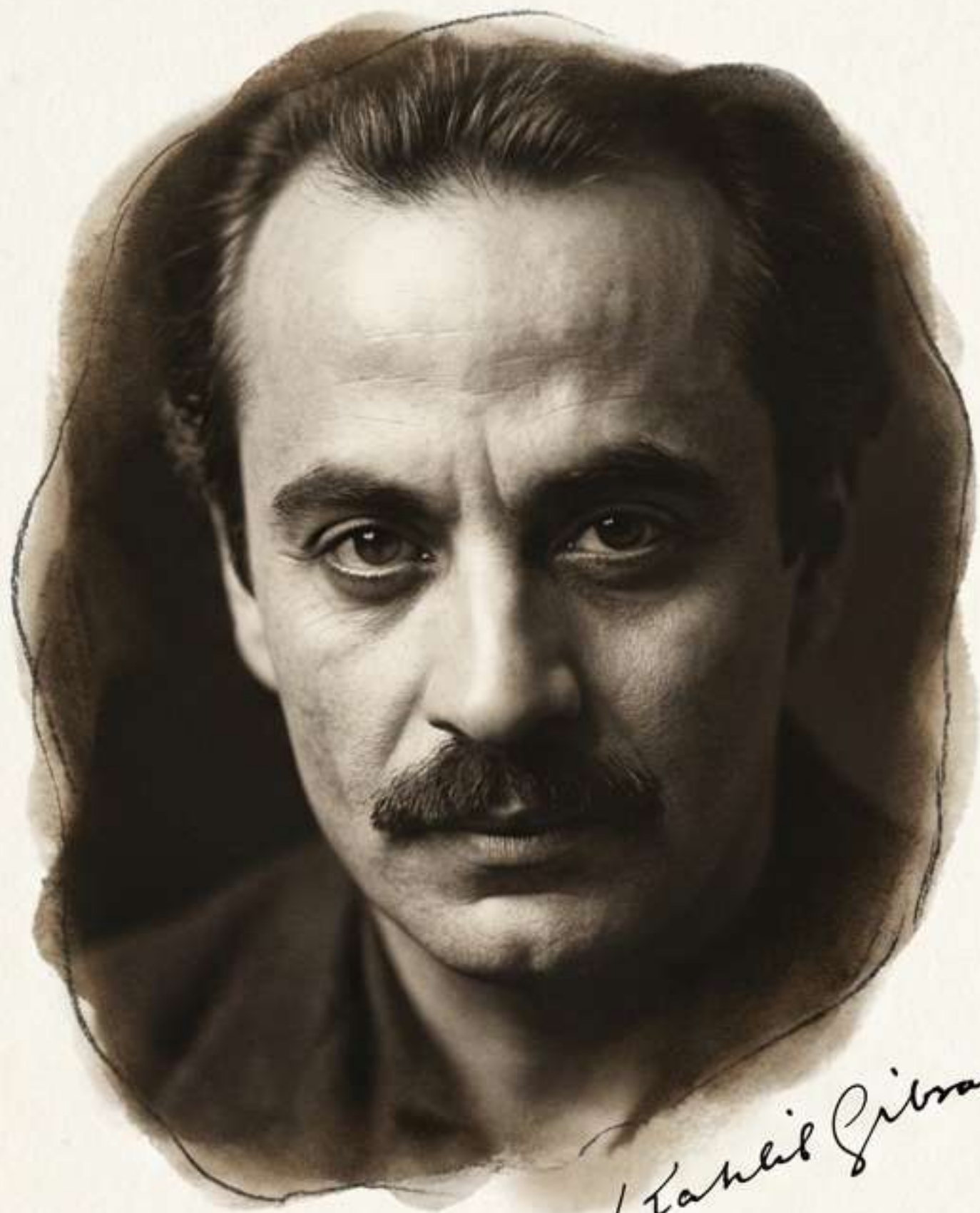




Kahlil Gibran

カリール・ジブランと 『予言者』

東洋と西洋、魂の架け橋

時代と国境を超え、世界中で愛され続ける
「魂の詩人」への招待状。

聖書、シェイクスピアに次ぐ読者数

1923

発行年
(以来、一度も絶版にな
っていない)

100+

翻訳言語
(世界中で翻訳)

1億+

発行部数
(全世界での販売数)

1923年の出版以来、『予言者』は世界的な現象となりました。1960年代のカウンターカルチャーのバイブルとなり、現代でも精神的なガイドとして読み継がれています。彼は歴史上、最も売れた詩人の一人です。

レバノンの杉と神秘的ルーツ

1883年 - 1895年



生誕

オスマン帝国領レバノン北部、ブシャリ村。



宗教と自然

マロン派キリスト教徒として育つが、イスラム神秘主義（スーフィズム）の影響も受ける。壮大な「レバノン杉」と深い渓谷が、彼の感性の最初の教師だった。



困難

貧困と父の投獄、財産の没収。この苦難が母カミラのアメリカ移住を決意させた。

異国ボストンでの喪失と孤独

1895年 - 1903年

移民の現実

12歳でボストンのサウス・エンドへ。学校での登録ミスにより、本名「Khalil」が「Kahlil」となり、これが生涯のペンネームとなった。

悲劇の連鎖

1902年から1903年にかけて、結核などの病により母、兄、妹を相次いで失う。

結果

異国の地で、妹マリアンナと二人きり取り残される。この深い孤独が、彼の精神性をより内面へと深めていった。



才能を導いた運命の出会い

フレッド・ホランド・デイ
(F. Holland Day)

前衛的な写真家。貧しい少年
だったジブランの芸術的才能
を最初に見出し、ボストンの
芸術界へ導いた。



メアリー・ハスケル
(Mary Haskell)

教育者であり、ジブランの生
涯のパトロン、編集者、そし
て「最愛の友」。

架け橋としての役割：メアリーはジブランの英語を添削したが、彼特有の「アラビア語的なリズム」や聖書的な格調はあえて残した。彼女なしでは『予言者』は存在しなかったと言われる。

「東洋のロダン」としての画家ジブラン

- パリでの研鑽

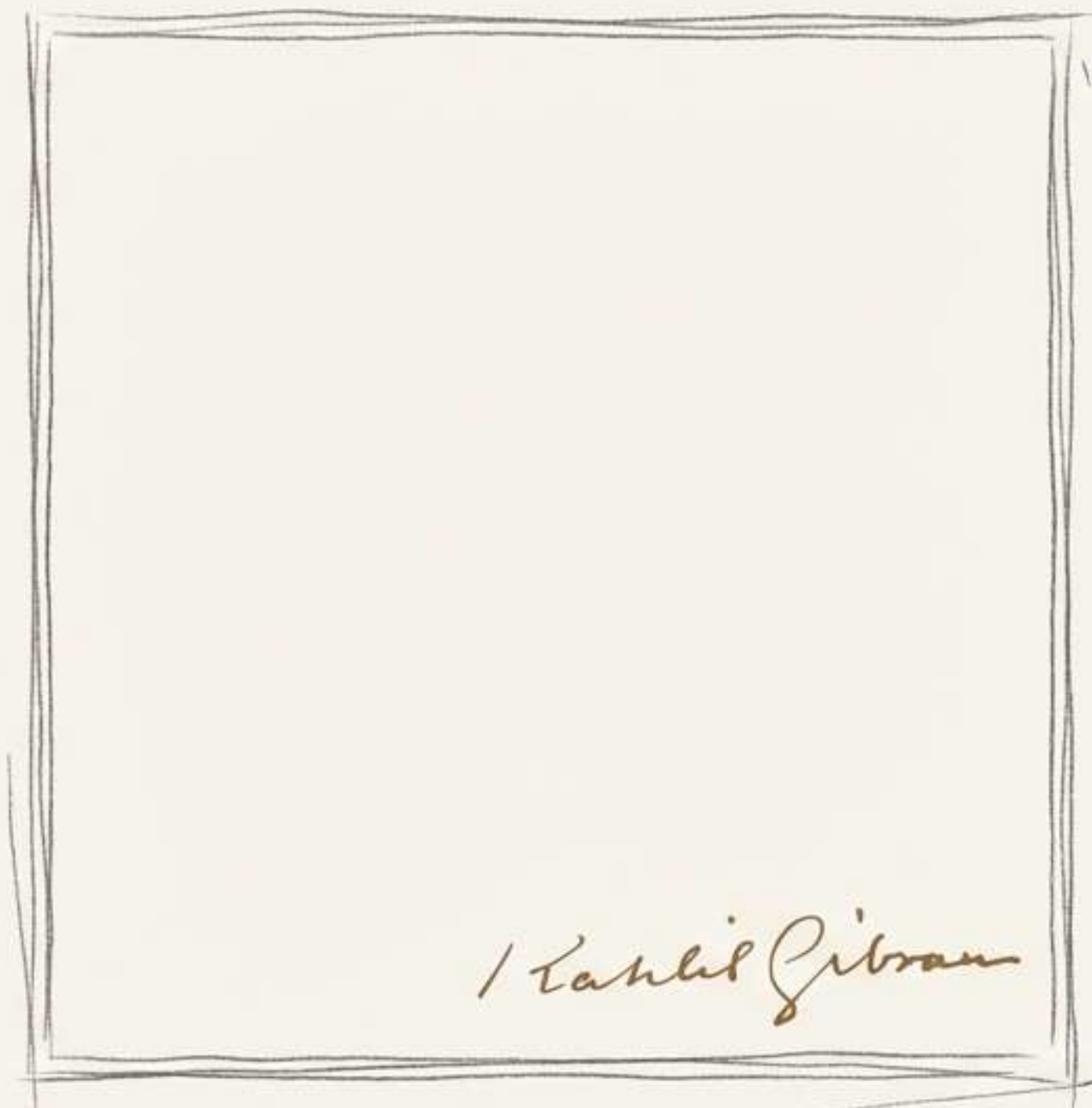
1908年からパリで美術を学ぶ。オーギュスト・ロダンとも交流があったとされる。

- 画風

神秘的でエーテルな裸体画。彼は人間の肉体を「魂の神殿」として描いた。鉛筆や木炭を用いた繊細な画風が特徴。

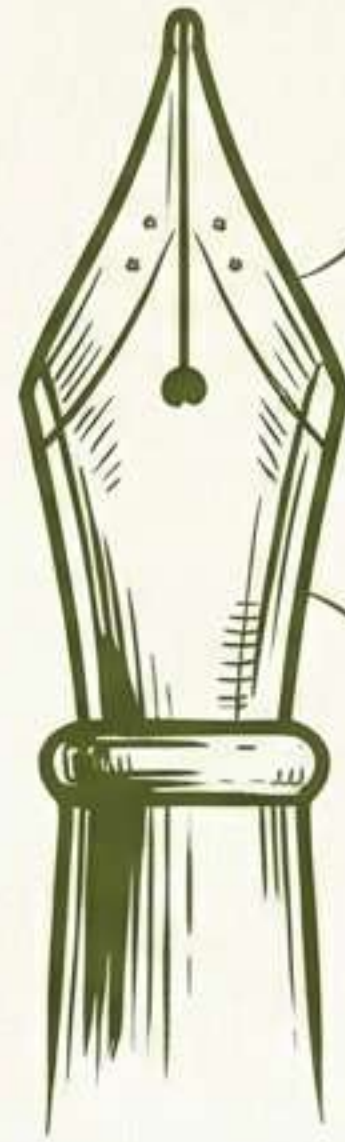
- 統合

彼は自著の挿絵を自ら手がけた。彼にとって「描くこと」と「書くこと」は、同じ真理の二つの表現だった。



ニューヨークの「ペン・リーグ」と文学革命

1920年結成



ペン・リーグ

(Al-Rabita al-Qalamiyya)

ニューヨークのアラブ人作家たちと共に結成した文学団体。

使命

伝統的で形式張った古典アラビア文学を打破し、西洋ロマン主義を取り入れた、自由で個人的な表現を追求した。

二つの顔

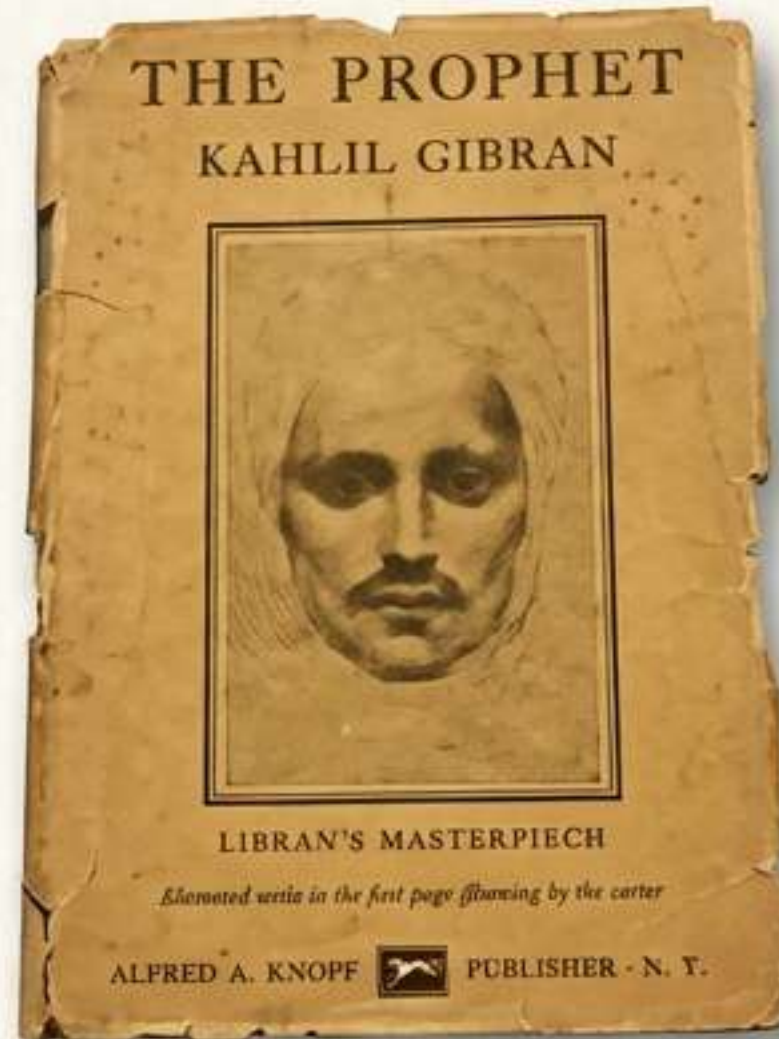
彼は西洋では「賢者」として知られるが、アラブ世界では既存の権威に反抗する「改革者」だった。

12年の沈黙を破る傑作『予言者』

1923年出版

物語

予言者アルムスタファは、故郷へ帰る船を12年間待ち続けていた。船がついに到着し、彼が街を去ろうとするとき、人々は彼に「人生の真理」について語るよう求める。

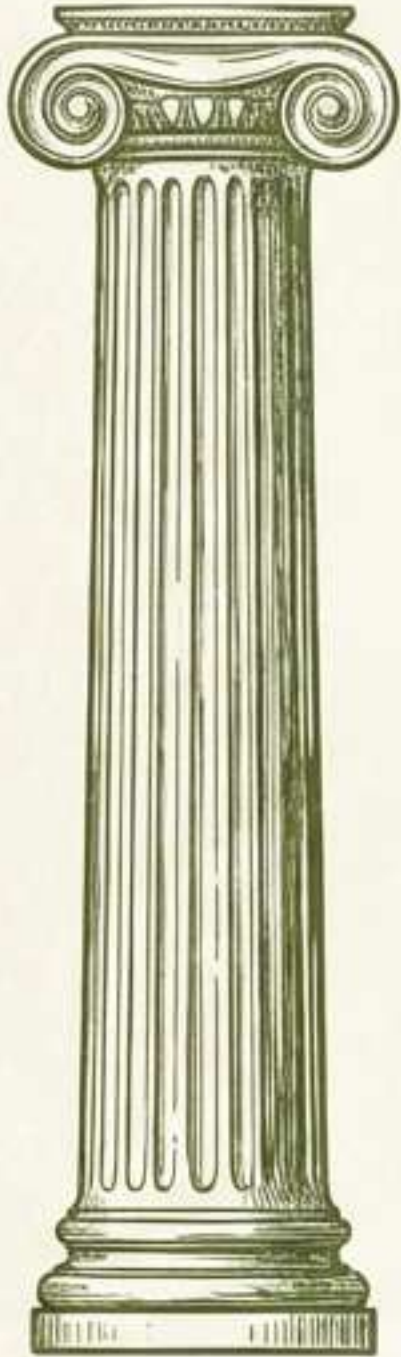


構成

愛、結婚、仕事、喜び、悲しみ、死など、人生のあらゆる側面について26の散文詩で綴られる。

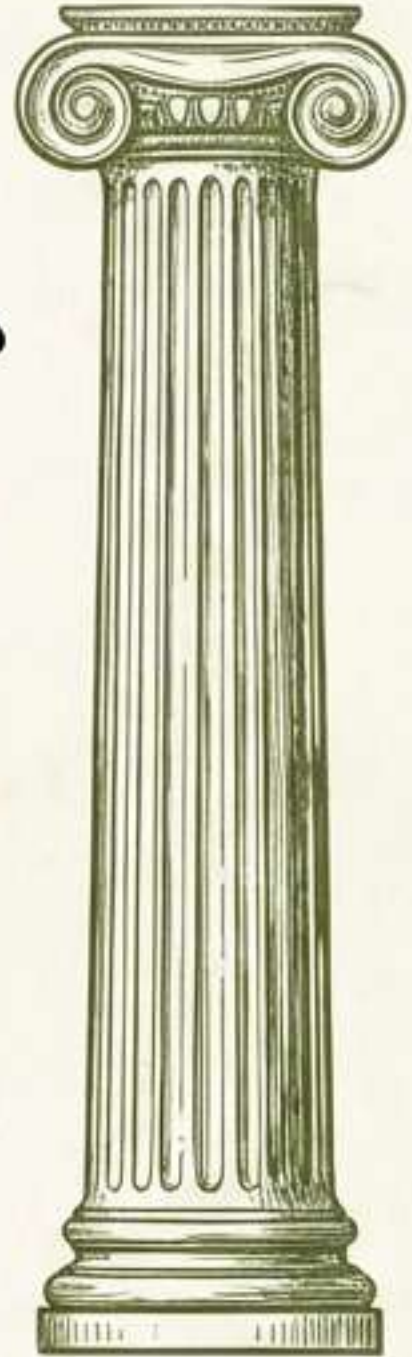
/ Kahlil Gibran

知恵の言葉 I：愛と結婚について



「愛は、愛自身以外のなにも与えず、
愛自身以外のなにも奪わない。」

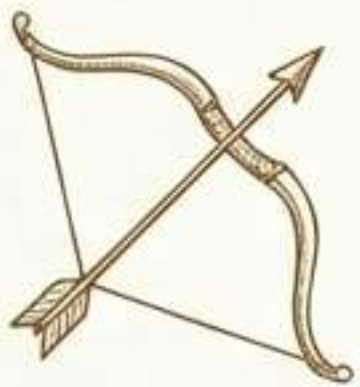
「二人のあいだには、空間を置いておきなさい。
……一緒立っていなさい。けれど、
あまり近くに寄りすぎてはいけない。
神殿の柱は、離れ離れに立っているのだから。」



解説：真のパートナーシップとは、所有することではなく、自立した二人が支え合うことであると説く。

知恵の言葉Ⅱ：子供について

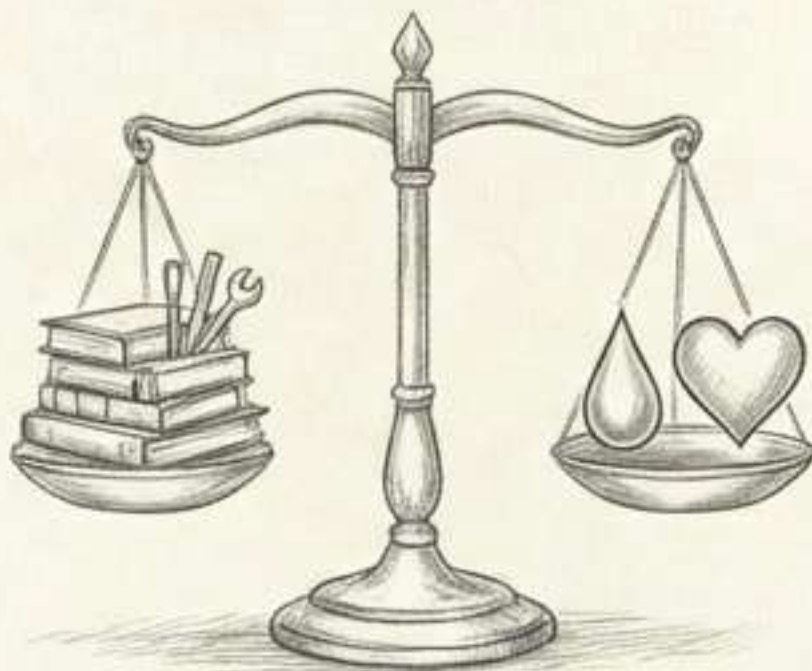
「あなたの子供は、あなたの子供ではない。
彼らは、自らを保全しようとする
大いなる生命の息子であり娘である。」



弓と矢の比喻

親は「弓」、子供は「矢」。神という射手が、未来という標的に向かって矢を放つ。親（弓）が安定してこそ、子供（矢）は遠くへ飛べる。

知恵の言葉 III：仕事と悲しみ



仕事について

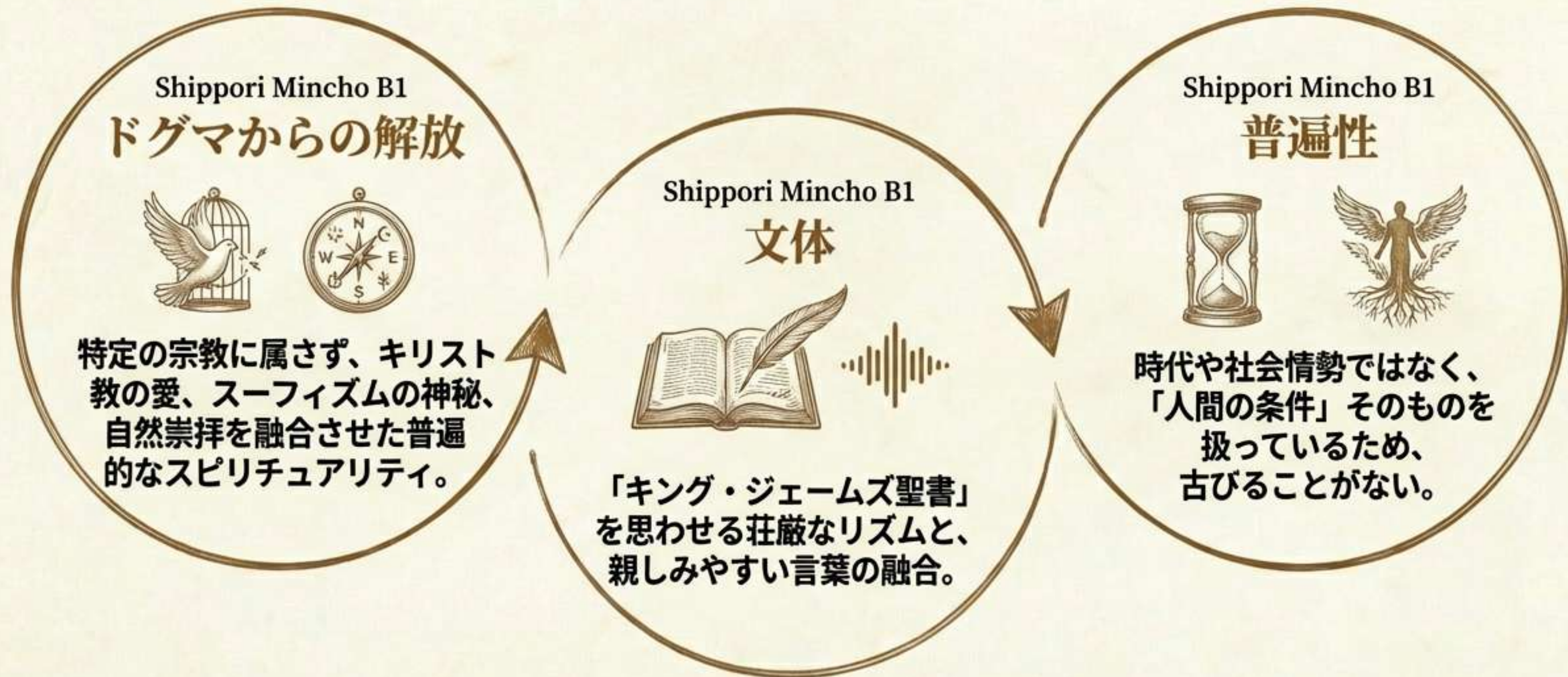
「仕事とは、目に見えるようになった愛である。」

悲しみについて

「悲しみがあなたの存在を深く刻めば刻むほど、あなたはよより多くさの喜びを入れる入れることができる。」

哲学：人生の二面性（喜びと悲しみ、生と死）は不可分であり、双方が魂の成長に必要である。

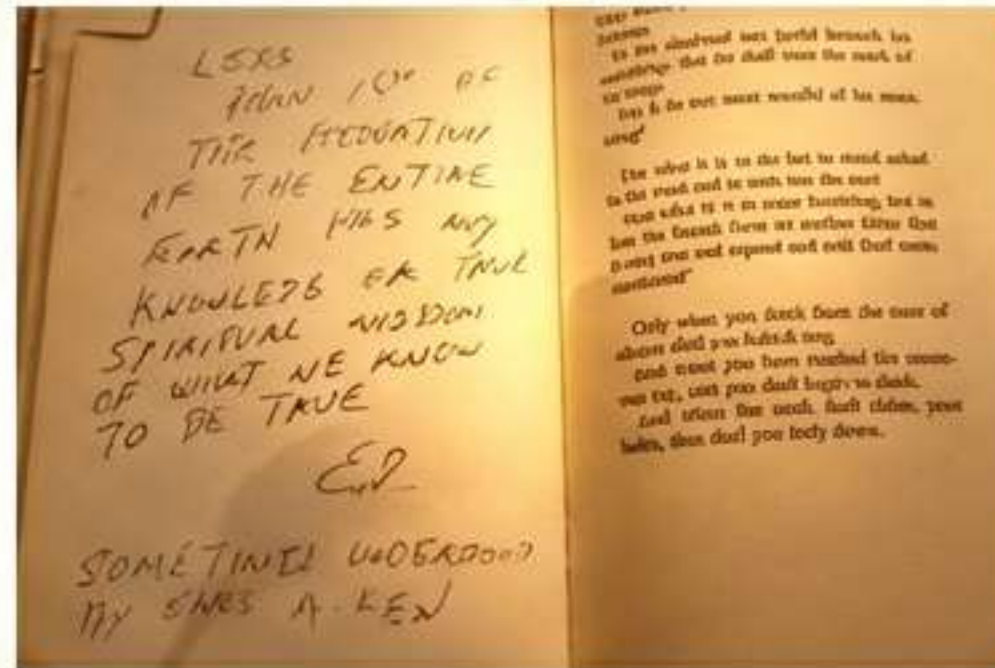
なぜ世界中で愛され続けるのか



批評家の沈黙、民衆の熱狂

Zen Kaku Gothic New
批評家との乖離

「感傷的すぎる」として
批評家からは無視された
が、読者の口コミで徐々
に広がった。



Zen Kaku Gothic New
カウンターカルチャーと熱狂

1960年代、既存の権威に
反発する若者たちの間で
「バイブル」として爆発
的な人気を博した。

著名人の愛読：エルヴィス・
プレスリー、ビートルズ、
ジョン・F・ケネディなど。

Shippori Mincho B1

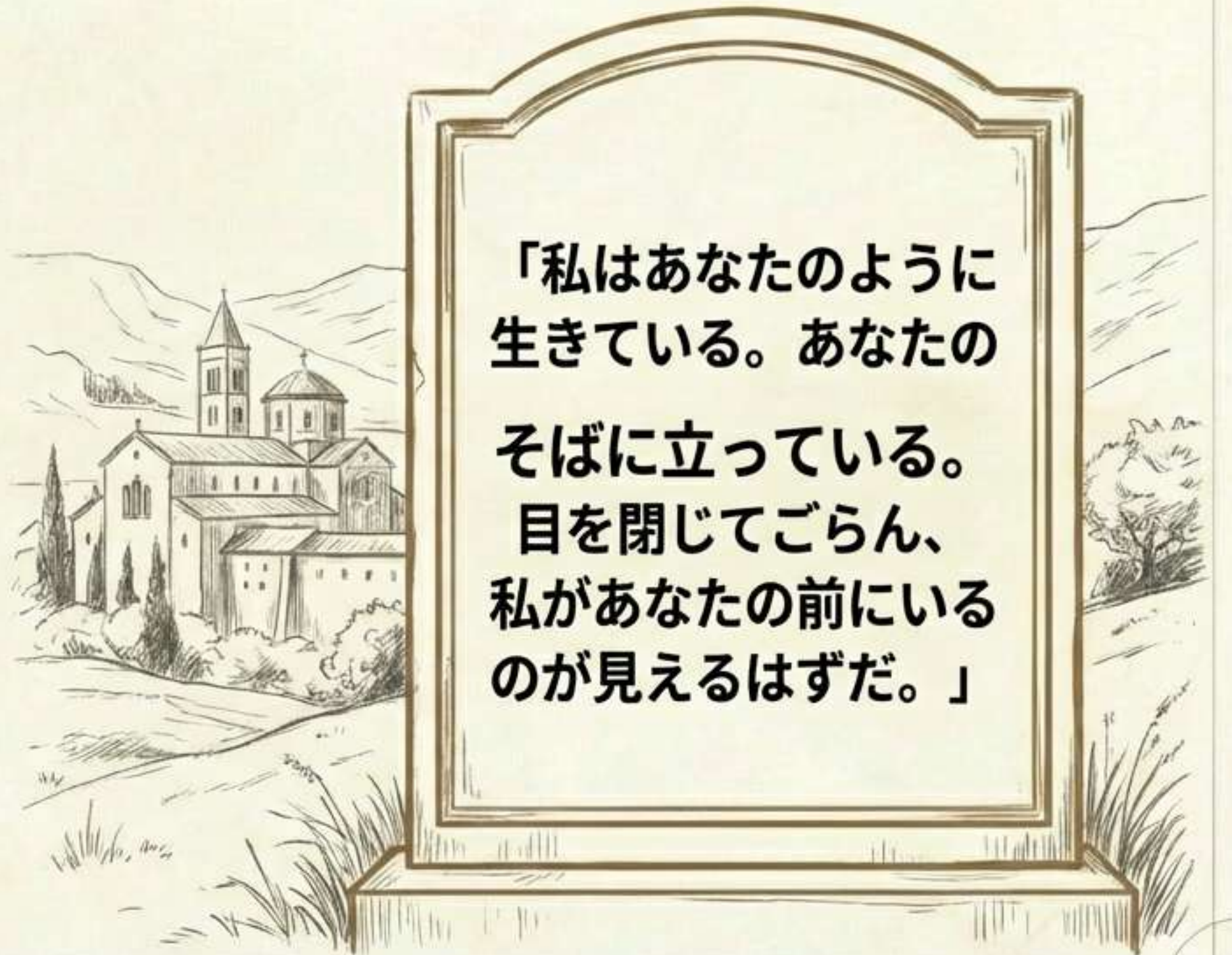
魂の帰郷

- **早すぎる死**

1931年、ニューヨークにて48歳で死去（肝硬変と結核）。

- **約束の地へ**

遺言により遺体はレバノンへ戻り、ブシャリの古い修道院（現在のジブラン博物館）に埋葬された。



「私はあなたのように
生きている。あなたの
そばに立っている。
目を閉じてごらん、
私があるの前にいる
のが見えるはずだ。」

私たちの内なる「予言者」

ジブランは、神性や真理が遠い場所にあるのではなく、
私たちの日常——仕事、愛、食事——の中にあると説いた。

『予言者』を読むこと、
それは自分自身の魂の鏡を覗き込むことなのです。

